

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	一時預かり事業（幼稚園型Ⅱ）			事業番号	014-121
担当部署名	子ども青少年	局	子育て支援	部	幼保推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
		有	取組の方向性	②多様で質の高い教育・保育サービスの提供				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2	
		有	取組	安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供、小学校教育との連携				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
無	現状値	—	目標値	—				

2	関連計画				
3	事業開始年度	平成 31 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	子ども・子育て支援法・児童福祉法 堺市幼稚園型Ⅱ一時預かり事業補助金交付要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	私立幼稚園
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内在住の3号認定を受けた2歳児（2歳の誕生日を迎えた日から3歳の誕生日を迎えた年度末までの幼児）の受け入れを行う私立幼稚園（5園）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	保育を必要とする2歳児を受け入れる私立幼稚園を活用して、待機児童の解消を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	保育を必要とする2歳児の受け入れを行う私立幼稚園に対し、経費の一部を補助する。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	私立幼稚園
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 待機児童数	人	目標値	0	0	0		
		実績値	11	0			
		達成率	-	-			
当該指標を選定した理由		保育を必要とする2歳児の受け入れ枠を確保し、待機児童の解消を図る事業であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		各幼稚園における受け入れ人数の合計					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12 受け入れ人数	人	目標値	54	78	42		
		実績値	54	78			
		達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由		待機児童の解消を図る事業であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		次年度4月1日時点の待機児童数					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	一時預かり事業（幼稚園型Ⅱ）	事業番号	014-121
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
13 事業費 (a)	0	4,751	57,059	6,132	30,724
財源内訳	国支出金	1,584	19,019	2,044	10,241
	府支出金	1,584	19,019	2,044	10,241
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源		1,583	19,021	2,044	10,242
14 人件費 (b)	0	2,430	2,460	2,460	2,460
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	7,181	59,519	8,592	33,184

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源	
		事業費	うち一般財源				事業費	うち一般財源		
16 事業費内訳	一時預かり事業補助金（幼稚園Ⅱ型）	R2	決算	6,132	2,044		R2	決算		
		R3	予算	30,724	10,242		R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
	R2	決算				R2	決算			
	R3	予算				R3	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
17 ① 受け入れ人数	人	54	78
② 上記①にかかる年間経費	千円	7,181	8,592
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	132,982	110,154
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和2年度は市内5園にて78名の園児募集を行い、年間延べ利用人数は3,259人であった。保育需要が高いが受け皿の確保にあたってハードルが高い2歳児について、保育所等だけでなく、通常は3歳から5歳児を受け入れる幼稚園でその受け入れ枠を確保したことから、待機児童対策において、一定の効果を挙げた。保育を必要とする2歳児の保護者の認定こども園や保育所以外の選択肢の幅が広がり、令和3年4月1日の待機児童ゼロの達成に寄与した。本事業は、国費および府費も活用したものであり、市単費で実施していないことから費用対効果は高いと考える。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 幼稚園においても2歳児の保育の受け皿を確保することは、乳幼児期の子どもと家庭への支援および安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供そのものである。また、待機児童の解消に向けた取り組みは、誰一人取り残すことなく、すべての子どもへの幼児教育・保育の提供を実現することにつながり、本事業の対象幼稚園は、特色ある教育・保育の提供を行う私立幼稚園（私学助成幼稚園）でもある。以上から、本事業による多様で質の高い教育・保育の提供は、計画に示す方向性・目的と一致しており、計画の推進に寄与している。